

令和5年度 生活交通改善計画

①安全性快適性の維持向上

橋脚補強(千曲川橋梁P3橋脚)



基礎拡幅し河床低下時の安定性を確保する
(写真はP4橋脚復旧工事)

設備投資等資金計画

(単位:千円)

項目/年度		H16-R3計	R4実績	R5計画	R6計画	R4-R6計	備考
鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金	重軌条交換・硬頭レール化	258,160	7,393	7,830	5,280	20,503	
	コンクリート及び合成まくらぎ化	197,511	15,335	10,000	19,460	44,795	
	まくらぎ交換	29,630	3,307	0	2,000	5,307	
	軌道道床硬質構造化	230,556	16,981	4,830	20,545	42,356	
	踏切保安装置更新	337,655	17,267	18,050	34,050	69,367	
	電路設備	10,408	0	0	23,630	23,630	
	変電所設備	112,159	0	92,000	0	92,000	
	車両更新・定期検査	167,055	13,624	20,210	11,535	45,369	
	橋梁改修・塗装・補修	85,215	49,070	280,320	290,000	619,390	
	避雷設備・ATS等電気設備	24,237	0	0	0	0	
	分岐器交換・連接踏切改良	69,660	2,388	0	0	2,388	
	上記以外の補助対象工事	258,979	0	0	7,470	7,470	
小計	1,781,225	125,365	433,240	413,970	972,575		
地域鉄道安全運行支援(県・市 コロナ支援)	28,847	-	-	-	0		
鉄道施設安全対策事業(緊急老朽化対策)	25,220	-	-	-	0		
上田市安全対策事業(設備投資+修繕)	724,290	14,406	16,730	16,730	47,866		
安全対策自社工事(設備投資+修繕)	763,641	29,370	86,121	50,567	166,058		
工事費計	3,323,223	169,141	536,091	481,267	1,186,499		
負担額	国	576,231	39,517	144,413	137,990	321,920	
	長野県	294,141	20,894	72,207	68,995	162,096	
	上田市	1,600,156	79,359	233,350	223,715	536,424	
	上田電鉄㈱	883,414	29,370	86,121	50,567	166,058	

※端数四捨五入のため合致しない場合あり

②利用促進(主な取組み)

1. QRシステムによる利便性向上
2. 新型定期券の発売による買いやすさの充実
3. 沿線企業、学校への利用促進提案
4. 記念乗車券(5.5.5)や記念グッズの販売
5. 貸切列車プランの販売促進強化
6. イベントの実施開催
7. 近郊の鉄道会社、沿線学校、別所温泉観光協会などとの連携



Instagram

bessho_sen

投稿491件



フォロワー 2,705人('23/4/18現在)



イベントなど情報発信を行っています

@info_dentetsu



フォロワー 1,441人('23/4/18現在)

**令和 5 年度 上田電鉄(株)生活交通改善事業計画
(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)**

別所線活性化協議会
令和 5 年 4 月 2 8 日

1. 事業の目的・必要性

上田電鉄別所線は生活に密着した公共交通機関であり、観光を軸とした産業面や地域規模での対応が必要な環境面、更には文化的・教育的側面においても重要な交通機関である。一方、開業 100 年を超える線路施設は、施設全体の老朽化が進んでいる。特に、千曲川橋梁においては令和元年東日本台風による豪雨の影響で A 2 橋台が崩落、P 4 橋脚は傾斜、復旧まで 532 日を要した。P 4 橋脚は被災後、河川管理者より最深河床高の変更（低下）が示され、復旧工事により補強を実施したが、P 1～P 3 橋脚については最深河床高での安定性が確保できないことから、河床低下に対する安定性の確保、危機耐性を向上させ輸送の安全安定性確保を図る。

① 橋脚補強

P 1～P 3 橋脚において、P 4 橋脚と同様に基礎拡幅による補強工事を計画、今年度は P 3 橋脚について工事を実施する。

2. 事業の定量的な目標及び効果

経常赤字を生じている中、地域公共交通確保維持改善事業費補助制度を活用し、老朽化した鉄道施設の改修・更新を行うことにより、輸送の安全・安定性の維持向上を図る。

令和 5 年度輸送人員目標は、令和 4 年度比 7.7% 増の 1,041 千人とする。

3. 事業計画および概要

(1) 事業の内容

別添のとおり

(2) 当該事業を実施する事業者

上田電鉄株式会社

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和 5 年度事業費	(当 初) : 270,500 千円
負担額	国 (当 初) : 90,166 千円 (負担割合 1/3)
	長野県 (当 初) : 45,083 千円 (負担割合 1/6)
	上田市 (当 初) : 135,249 千円 (負担割合 1/6+1/3)
	上田電鉄 : 1 千円

5. 協議会の開催状況と主な議論

別所線再生支援協議会

- ・ 令和 2 年 5 月 25 日 (第 18 回) 令和 2 年度事業計画についての協議 (書面協議)
- ・ 令和 3 年 6 月 14 日 (第 19 回) 令和 3 年度事業計画についての協議 (書面協議)
- ・ 令和 4 年 3 月 22 日 (第 20 回) 令和 3 年度補正計画についての協議 (書面協議)

別所線活性化協議会

- ・ 令和 4 年 5 月 27 日 (第 1 回) 令和 4 年度事業計画についての協議 (会議)
- ・ 令和 5 年 2 月 20 日 (第 2 回) 令和 4 年度補正計画についての協議 (書面協議)
- ・ 令和 5 年 4 月 28 日 (第 3 回) 令和 5 年度事業計画についての協議 (本会議)

(協議会の構成)

国	北陸信越運輸局
関係都道府県・市区町村	長野県・上田市
関係交通事業者	東日本旅客鉄道(株)・しなの鉄道(株)・千曲バス(株) 上田バス(株)・長野県タクシー協会・上田電鉄(株)
そのほか	上田警察署・塩田地区自治連会・別所温泉観光協会・ 別所温泉旅館組合・別所線の将来を考える会・ 上田商工会議所・信州上田観光協会・上田市社会福祉協議会・ 上小高等学校校長会・長野大学・上田女子短期大学

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画

事業実施事業者名:上田電鉄株式会社

(単位:千円)

設備・保存費の区分	整備の概要	令和4年度(実績)		令和4年度補正(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		備考
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
レール	軌道レールの重軌条化・硬頭レール化	7,393	八木沢～別所温泉 162m	7,830	神畑～大学前112.5m	-		5,280	八木沢～別所温泉 75m	
マクラギ	木マクラギをコンクリートマクラギ又は合成マクラギへ交換	15,335	三好町～赤坂上 連続65本 全線スポット364本	10,000	三好町～赤坂上 連続43本 全線スポット145本	-		19,460	中塩田～塩田町 連続96本 全線スポット300本	
マクラギ	老朽化した木マクラギを木マクラギに同種更新	3,307	下之郷25番分岐	-		-		2,000	下之郷構内1・2・3番線 60本	
軌道道床	憤泥箇所の路盤硬質構造化及び道床バラスト交換	16,981	三好町～赤坂上 86.5m 大学前～下之郷 11m (西原田農道踏切KGパネル化)	4,830	三好町～赤坂上58m	-		20,545	中塩田～塩田町 84m 寺下～神畑 寺下踏切KGパネル化	
橋梁(千曲川橋梁)	橋梁塗装、橋梁改修	42,340	支承部リベット補修 38,000千円 橋脚健全度調査 4,340千円	9,820	支承部リベット補修 9,820千円	270,500	橋脚補強(P3)	290,000	橋脚補強(P2)	
橋梁(千曲川以外)	橋梁塗装、橋梁改修	6,730	産川橋梁落橋防止	-		-		-		
踏切保安設備	老朽化した踏切保安設備の更新	17,267	上田原～寺下 花見堂踏切	18,050	中塩田～塩田町 宮浦踏切	-		34,050	八木沢～別所温泉 八木沢踏切 中曽根農道1号踏切	
変電所設備	老朽化した変電所用変圧器、整流器の更新	-		92,000	下之郷変電所 1号整流器・変圧器	-		-		
車両設備	4年、8年毎の車両の重要部検査、全般検査	13,624	6001編成 全般検査	20,210	1001編成・1004編成 全般検査	-		11,535	1002編成 全般検査	
線路設備	開渠・水路改修 発条転てつ機更新	2,388	発条転てつ機更新 城下1台 下之郷1台	-		-		7,470	舞田～八木沢 舞田水路改修 下之郷～中塩田 側溝設置30m 寺下～神畑 側溝設置50m	
電路設備	インピーダンスボンド(軌道電流遮断機器)更新 柱上変圧器更新	-		-		-		23,630	全線スポット インピーダンスボンド 16台 柱上変圧器更新 10台	
合計		125,365		162,740	工事は令和5年度に繰越し実施	270,500		413,970		

鉄道事業者の収支改善計画

令和5年4月28日

事業実施事業者名：上田電鉄株式会社

(単位：百万円)

	R1	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11	
	'19	2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
旅客運輸収入	228	178	125	217	177	217	210	217		222		226		231		235		240		245	
運輸雑収入	22	23	22	23	24	23	21	23		23		23		23		23		23		23	
収入計	250	201	147	240	201	240	231	240	0	245	0	249	0	254	0	258	0	263	0	268	0
運行費用	365	328	288	302	285	302	314	302		302		302		302		302		302		302	
鉄道事業収支	-115	-127	-141	-62	-84	-62	-83	-62	0	-57	0	-53	0	-48	0	-44	0	-39	0	-34	0
その他関連事業収支	17	18	11	19	11	19	17	19		19		19		19		19		19		19	
全事業収支	-98	-109	-130	-43	-73	-43	-66	-43	0	-38	0	-34	0	-29	0	-25	0	-20	0	-15	0

①増収策内訳	0	0	0	5	0	6	2	6	0	6	0	6	0	8	0	8	0	8	0	8	0
ダイヤ改正	0	0	0	1	0	1	0	1		1		1		1		1		1		1	
善光寺御開帳・北向き観音御開帳を フックとした誘客効果の継続	0	0	0	0	0	1	0	1		1		1		1		1		1		1	
インバウンド観光推進	0	0	0	1	0	1	0	1		1		1		2		2		2		2	
ハーモニカ電車の利用促進	0	0	0	1	0	1	0	1		1		1		1		1		1		1	
貸し切り電車の利用促進	0	0	0	1	0	1	1	1		1		1		1		1		1		1	
観光キャンペーン等の実施	0	0	0	1	0	1	1	1		1		1		2		2		2		2	
②経緯削減策内訳	-41	0	36	22	39	23	11	23	0	23	0	23	0	23	0	23	0	23	0	23	0
LED化による光熱費の削減	0	0	0	0	0	1	1	1		1		1		1		1		1		1	
ダイヤ改正による動力費の削減	4	0	9	6	7	6	-6	6		6		6		6		6		6		6	
その他諸費用の削減	-45	0	27	16	32	16	16	16		16		16		16		16		16		16	
改善効果 (①+②)	-41	0	36	27	39	29	13	29	0	29	0	29	0	31	0	31	0	31	0	31	0

②の経費削減策内訳の数値は運行費用と整合とれるよう、本計画書より変更した。